評判

當風辻講義

特
へ遠13
1854
今止

但州
中屋喜兵衛門
湯嶋

へ 遠13
854
5止

蒲団辻説義巻五 下巻 新後評判 桑名宗中住 蓮阿述

○蒲帳の事

山路御教。爰の時分法師国光霊地より。
江戸の貴婦人和尚に金銭しく呼寄
所の仏菩薩。立代り入替り。元寛文年中より。
俗より一生と辛切形。ゴ人バ寝帳の種もはバ
和。江戸人の行儀とぞ。聖徳太子より蒲帳と
いへバ。大工根ゴ。俗の細工人。我もくくと
ゴる。祖師の寝所より。一宗の信者男女貴賤

百人ばかりとぶらひ。[illegible]町屋を懐かしみ[illegible]
[illegible]貢領。西門沖の波の[illegible]神と信[illegible]
[illegible]。[illegible]行と[illegible]れ。八方[illegible]竜世を[illegible]風ぶ出[illegible]。注
[illegible]中。[illegible]池田の[illegible]師の[illegible]時は。池田
[illegible]酒[illegible]。[illegible]世[illegible]役[illegible]人の[illegible]引[illegible]を敬る
[illegible]。山[illegible]の[illegible]は。[illegible]
[illegible]倣[illegible]。[illegible]我[illegible]
[illegible]。[illegible]人の日は。[illegible]人数[illegible]
[illegible]元信元七八百。[illegible]中[illegible]貨[illegible]の亭主[illegible]百

我屋の[illegible]。[illegible]人[illegible]
[illegible]人[illegible]。[illegible]
[illegible]。白い御[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。河[illegible]。[illegible]人数[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]

やうな素浪人数百人、新下を賽銭ハ皆〳〵〳〵紙袋
入れと開。八方へ賜と配る。新宮。遠山を合ふ。
なるハ。癲癇病ハ踊子寄ふ。やうく〳〵業ハ
此家踊箱ハく。拾ハ待ち寄とむ。やうに者〳〵ハ。
人渇こうん〳〵。新〳〵郡月新日ハ。
新日ハ。沖縄ハの初日。行ふ新ハ。
家ハ。お寄ふ。少清ハ。
門ふ。ふ。ハ建〳〵。
京ハ寺ふ。ふ。ハ。

貪ふ。拾初ハ。ふ例稲荷大明神。
法宮。寄家ハ。ふ。ハ七月。
ハ。ふ。ハ毎月晦日。ふ。ハ七月十ハ日。
日。ふ。ハ。ふ。ハ。
傳ふ。ハ。近。ふ。宣。
ハく。関西。ふ。ハ。ふ。ハ。
ふ。ふ。ふ。ハ。ハ。
と。ふ。ハ。ハ。
ハ。ハ。ハ。

文蔵と云人あり。ふかき地恵をよく人命を救ひ
と称す。身を修し。偉丈男ふ駄布し提灯持せ若衆
相随ふ。かゝる社頭ふ地蔵菩薩ふ地蔵
ふ。今夜ハ見堂ふ籠り極て浪花ふ
中と社人出て。まづ海ふ出ぬ。海ふ出ぬ
ハ男と言葉の風。海ふ。其後毎ふ出ると云
て。夜ふ入ふ伝ふ紙度ふ七度出使ふ号ふ元
山神と伝ふ。祭ふ。一日ふ夜食大酒。一日ふ
等動揺ふ。当社ふ

津ふ。地ふ。海ふ。大船ふ。一帆風。
立ふ。ふ。ふ。世界ふ。基ふ。
元ふ利ふ。地蔵ふ。動揺ふ。
わふ。ふ。ふ。造ふ。ふ。ふ。
こふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
権平ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

食を生ずるを陸と思ふもの（ゆゑ）に上異孫記に云く沼の
異宝同類なれハ宝智の種二領ハ弟我反示相場に出
ハ虎おれが高紅とかう異を曲げ弱の時繁や利と
とかけると熟を反と云く武士とする廉ハ
身をくれ智をする氣虚化風の種をもを大職化振坂
細工の器一枚板元二文を命と育く雄比素が素襖
但し紋ある縮緬袴ハ時数と反例板数と行や
ハかりんかくしいを花露れ形ハさぐるハ
朝比奈紋破とハ世俗縮緬く門破ハ合散の文様

細潟和尚の筆物ハ伝法の神法内証安堂寺自中廣
寺浮ハ和尚の筆物ハ伝法の神法内証安堂寺自中廣
寺襖ハ久く無沙の所ハ紙ハ今ハ有く内裏
寺襖久く無沙の所ハ紙ハ今ハ有く内裏
寺ハ岩根の別当寺の細工岩根ハ蓋不珍く小町が領
怨紙内ハ推の寺ハ穀ハ作壁の恒世が紙衣雅織ハ
氷付物ハ宝性ハ宝性ハ近辺ハ
ハ寄帳ハ見が和和尚清ハ
和で明ハ山方ハ
ハ寄帳ハ小路の金内ハ清水

寢耶と喜ひ、やうやう眼を開てみれば、亦同じあひく
ぬ孫記の変化なるべし。怪しく抑是よ
りこの方は狂癖人の新妻となりて昔夫の遺物を会
難き時須達長者の子を産みたりしが出来損
なく。阿須伽は拘薩羅国の金を借りて婿の
力なりとぬ。何ぞ法師にて新人敬愛の
拘薩羅じやうの金を新しの。只今の胸騒童
もいつ紀ぐはせば新妻の因縁と同長者の。天竺でも十
二日ハ須達の無日なり。婚食あり。法師なる拘薩羅

希有なる長者なり。孤の化れ難やいかなるべしと
せんかなる。忘れ難く辭ずして嗟まいでと
舌にしんとなる。仏弟の路頭迷ふ日和同じ
ちうと知るべくもあらず。如是なるの乃ちち
法師なるべき。婚書四の孔法師の海陽年間なれ
新妻にて国法の仏不思議なる。我い海陽年間なれ
金ハ弟貸人の損なる是故の借物し。号て賀家の方我
と号るべく。本宅と号て男氣おかしと。孫記法
不化。出家額と親なるべく。嘆笑家情なるべ。郷れた

凡夫の智恵酒食と養はんと欲する人
戒律と保つものと中家といひ免番給ふ
ちりと大業といひ明年いる戴翁於文己い甚
謂もせぬ俳諧のこれまでの儒を信ずる人の自抜とを教
まぼ。又行猿ゝ玄蘇ゝ大猿仲ゝ大猿仲ゝと信ず。
身試指崩ゝ七分体と接ふ振せる浮ふる近い法大坂い
醫者連孤ゝ靜歌庵と智ゝ東京い猿宮で町人
の分特と流頭号と下ゝ法紙ゝ世ふ引ゝを。
又老荘の道ふ流ゝて聖浮道と信ゝ邂逅ゝ大猿仲ゝ

故意と和ふ波積る壹ゝ人ゝ仁術ゝる醫と業ゝ
間ふ下化ふ生ゝ下ゝ法紙寺特ゝ山法ゝ京師ゝ出家の
ゝ傳教ゝ仏法ゝ魔法の骨張ゝ教ゝ書ふ
反家の出ゝ家ゝ家ゝ宮ゝ家ゝ書ゝ和漢ゝ書ふ
えぬゝ法度ゝ下ゝ法紙ゝ家ふ宮ゝ出家ゝ世ふ和ゝ
拙ゝ是ゝ喜ゝ浮屠ゝ細ゝ肩拾ゝ言ゝ
家ゝ孔ゝ道ゝ家ゝ人ゝ乗ふ法ゝ世ゝ
事ゝ学ゝ中ゝ下ゝ家ゝ出ゝ
ふ拙ゝ

[illegible]

て銭金を添へ[illegible]て銭一文もなけれども[illegible]世間の金銀出し[illegible]傾城[illegible]

[illegible]

[illegible]

法律の限りを千万の所にかぎりなく利益をあらしむ。
故に百姓生れ家に入るよりは寄特とゆめ中人の作ハ悉
しかれども猶立て仲間のことを論じ反
答作るに新義邪人の廃詩和見ゆるの文を清家の論
ぞ高い者をとどめ合わせ新しいる小説の為に
異名を立て花がるし戒慎法を心に編帯
我と仏国中に仏像堂塔を立てしば自然に雨降ること
を願ハ祈るを以て神仏に祈り祭代わり祈
るとも願ハ必ず他国合ふ者と信ずるものなり。

本来無量信徒護れ為に寺院と言ふ基礎を志す国
帳繁昌しく結対を設まべ見分の所に結つくも
若しくハ自家計かい方法と結ん定めるや
と称する虚偽の者ハ寺院を建てるまで組
下り法の来行因会の信者ハ
和務を意地悪や誠のように
所と況べ古るも仏祖の信金の渡
安楽せしるの者ハ仏祖を崇敬
と離るべしの道ハ信法の如事や法源国府ハ

[illegible]
[illegible]
今は元文の比は[illegible]
神仏は何ものぞと[illegible]
[illegible]
[illegible]

寄合ゝ不堪の新発ゝ出生せしめ、ゝゝ仏
神八向後緩怠なき事しゝ海合せしゝ拝礼ゝ
ゝ後ゝ申ゝ拝ゝ八百拝こうんたくぶ初日八仏論二日先
三日め経の事ゝ多ゝ八国務ゝ勤ゝ事ゝ専ゝ
金百足後の家進ゝ奠ゝ生ゝ加ゝ又国務の後ゝ酒盛乱
と謂ゝ事ゝ申ゝ
今文明の聖代ゝ成ゝ
文事ゝ吟味し。時代ゝ
ゝ事ゝ勿論ゝ

江戸ゝ参ゝ国ゝ新ゝ出来ゝ
国恩ゝ思ゝ海波静ゝ
無事ゝ代ゝ新ゝ
後ゝ別後ゝ
命ゝ
ゝ
ゝ

ちうたげと賽銭を始め完天寛へ祈りやうをいたせばうち
ふく潮氣ふきを掬をつぶく肉体と出くもぐうう
りく吹て長八浮橋廣氣味うちふ睫とぬうちば。
石町乃末刹とあんく

○新鬼後鬼信心仏の解釈せし事

抜みかくぐ假寄ぐうもふ節ぬ事とうとで牧光ぬ仏
や大塔八宮ぬ浄蓮華ぬわもで。仏のうるやうと旅嘆考ふ
仏乃ぬまう今く潮合ぬまうぬ仏解仏とうぬ八中く
事下方事とんふぐ。役乃仏先と祖師と

ちうれぐ仏ぬぐぐうふ角乃仏ぬ指行とやく八。其流と
波ちぐうもいうぬ貴尭。ちう紙ぬ四くちうくち波ちう尭
わくく各祖刹ぬ遠ぐ仏法と簡略ぬせぐ。其風俗厳重
わくく。れぐ魔降仏乃煩悩妄想の天宏と踏法ぬ。
仏ぬ念想乃相とれぐ。ぐ仏ぬやくくむくぐん
ぐりちくく意ぬ仏乃ぬ胎乃書ぬ道ぬ結ぬやうに撮ちう
てわぬ。ぬまと尭有紙乃ちう落ぬ落と作ぐ。尭ちうと。仏義
やうぬ尭ぐ今ぬ赤くれ。ぐ。又行四会乃ちう仏ぬ。海
遠く尭角ちぐ春ぐ滅おれぬやうくく形と作材くと

乗科乞が苦行を。後取精と風採髪結しやくこゝやと
ゝるまうぼさつ。鬼うしん疑惑世波の石人風さのう外相
とつぐらは祖所の汚穢と都るべし。仏の石の素と拘奥内を
唱つくも出家に如しく俳神の因縁より加持行者とを
きばたらしがるとゝで拝絵の一道は変や通途の修行に
わるしで沢山ゝ今ゝ仏ゝ下ゝ苦ゝ苦ゝ。大日
遍照の智分。則身即皆仏西祇禅は蓮れ宝冠十二年経は
流生不具れ十二因縁と義と。其西天さは最初毛則毛晴
煩悩の義と表と。前は合ゝ石の動の頂上ゝ不義達花

わるかゝ勇ゝ仏の一乗妙法蓮華経教全別
杖笈袈裟御寺ゝ石ゝ和国西ゝ法華経は変ゝ仏ゝ
一致の極位と所。信徒と所ゝ信徒と所ゝ。法華不二人法
と深義と。見性の義ゝ。ゝ仏ゝ法ゝ仏ゝ
信ゝ仏ゝ此世ゝ。大嶽の達ゝ紙ゝ石ゝ
表ゝ仏ゝ後ゝ仏ゝ表ゝ年ゝ仏ゝ新ゝ仏ゝ仲間ゝ人ゝ石ゝ席ゝ云
乗と拘不審ゝ。ゝ不ゝ在ゝ一人踊出ゝ。ゝ其ゝ
其評方ゝ仏ゝ像中ゝ釈ゝ仏ゝ。表ゝ人ゝ仏ゝ人ゝ生国紙ゝ

河北の袁紹、袁術と願幸若めてまて征めつくべし。今ハ
袁紹ハ二十万人の兵を引連て、官渡に陣を取、今和
ちうか家合の河を隔てハ、袁紹の蓋をうち、ひとめ
見ては、又袁術に後、後ハ白波の賊ども、ひらか郷ぐ
袁小弁と云ひ、袁紹に後と大ハの表論ハ、ひ〳〵、草ハ論ず
一方計ぎ、車力ぐるまをぬ〳〵ふ和ぐ。二人ともに大事共
出来、袁紹ハ越前。袁術ハ徐州。袁術ハ徐州にて、袁紹ハ
とハ、兵を動かず、山羊ハ、ひとひ、家業ひく貴賤
なれ。ちうか沢ハ油ひ、抑ハ袁紹ハ、ちうか

ぬ〳〵、下を詰て、武ハ伝ひ、ひとに、ひ
ま也ぬ。ハ、後所に、と繁盛、袁術ハ、湯杖の橋と、呂布ハ塗
ど願と、ちうに湯杖と、同家出、憎悪くも、尤官下くしやう。
一ど、西孔振と、ちうの、ちうの沢、伝ぶ〳〵、ひとく、呂湯長ハ
ひるとと、地て、ハ、尤ハ、ひとく、ちうの、ちうの、信陵侯と
ぬて、ぬ〳〵、孔の乃ハ、ぬ〳〵、ぬ〳〵、ぬ〳〵

講中

千部
開帳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

知ぬがうらくもこの方遠ひうらもれ宮で感意のうべ
くを所〳〵天台真言の山出家方や山寺の沙番様の
流の真の山伏達のうめ所をとめる。中間れ沙積のうべ
ぶ物の沙るが素人細工や所れるうれ〳〵れとをよ
間貸がめ〳〵貴うも物がよい下座敷の浅ばあへ生とのの
元ハ沙積者の真似ばれ家日常帳か
どの人見事新〳〵過立〳〵浅草人〳〵浅草ハ拍黄
の素人細工遠近恥と新〳〵身ぶ美〳〵いの〳〵
とめまバ又拍黄〳〵ゆうの狐とまれのうれの世門〳〵あ

立〳〵金銀の和漢の〳〵黄の山の蘭に〳〵黄の細工〳〵
ふ〳〵がるぶの元の習さうう〳〵〳〵黄の新に〳〵れ元の
示ぶうの〳〵れる門ま立〳〵元の者こいの〳〵ま立
ぶの〳〵拍〳〵とあ〳〵まれ毛の〳〵れ元の黄も素人細工
の職人例者方人迎ぶ狐のれ〳〵ま五々二七出の拍お
とれ貢と頂け警告〳〵〳〵。西仏像の摩ぶ与黄様も〳〵。
いや〳〵れ元山の題ま浅黄人〳〵ゆうぶ〳〵〳〵れ
〳〵鼻ぶ〳〵立〳〵の浅れ項上題ぶ〳〵の狐ぶ歩ぶ敲う
こ〳〵の〳〵ぶ立ぶ今ハ狐と黄で人の

天竺にてもてはやされ、ひろめ給へば是もまた
よき所にてはぐくみ給ふ。たとへば又釋のことをかりていへば
らく。技術人にも劣る事なし。唐土にて孝行
く。當今仏の察給ふ。ぐ孝行生のあり。てわうう月氏
法の中。濁世の和ハせびらく。衆生の長の建立其外具
の蓮華。まの人間でハせども。和を。しく事細とハ。徒と
さもとうの流よハ。早常とうも。此弱穿鑿。あぜ
者をもつてこそハ。揮修ふ。所繼ぐ。
ぬけ門と和進。ハ和世の事細。下早ともく。何程

其勤をもつく。繼。ふ。ぐ。
くも。伝誕と。貪大。最仏神の。ぐ。
者。人。会神社の。兵建立。呼。金。
ぐ。関。。。有。。。
ぬ。。。。。。。
。。。。。。。
。。。。。。。

やうかわらぐべく山寺の大峯僧中ハ毎日ぞくぬやうの紙
滅多に性ようとへいるゆへ山達の鬢汚る
結所清水長徳中新三郎廣隆と出家ゆ大幟
押立見ゆ其ゆへ潮の満ぬ時ハ場杖つき武蔵野ハ枯
ゆへ山の麓ゆ入ぬ時ハ海ゆ出る殿極方の清目ハ
とまりぬ家ハ毒ゆ出ぬ業ハ新ぬ
ゆ殿ぬ海ぬ金ぬ出ぬ天と恨ぬ
ゆ程情出ぬ毒ゆと書ぬ出ぬ
恍惚の名所のし寄ぬ殿極方ハ拾ぬ

せぬ金根出ぬ打角寄ぬ還て毒ゆ絵ぬ
ひ程山寺ぬ分ぬ白し紙ぬ色ぬ紙ぬ
て山深ぬ花ぬ絵ぬ寄進ぬ下ぬ
絵世間ぬ集ぬ和ハ毒ぬ
ぬ山寺ぬ絵中ハ毒ぬ
ぬ和ぬ裏ぬ
絵ぬ毒作ぬ
絵殿ぬ物絵ぬ
のぬげぬ山寺ぬ分ぬ

但州湯嶋 中屋喜兵衛門

但州湯嶋 中屋喜兵衛門

ろ
えやうの大家様ハ格別よりぬかめ
ましてやくべつ
見ハまわ家食ハ
ぐ
ぐ
ぐ